

エコルマホール開館20周年記念プレ企画

エコルマ・アンサンブル コンサート

狛江ゆかりの作曲家、松村禎三と三木稔

vol.7

狛江在住、ゆかりの演奏家を中心としたエコルマ・アンサンブルのコンサート。
 7回目となる今回は来年度、エコルマホールが開館20周年を迎えることから、
 そのプレ企画として、半世紀にわたり狛江に住み親交の深かった、
 今は亡き日本を代表するふたりの作曲家、松村禎三と三木稔の作品を取り上げます。
 松村禎三は器楽作品からオペラまで、いずれも人間の内面の苦悩を表出する
 重厚な音楽のスタイルを貫きました。
 一方、三木稔は日本史のオペラ作曲をライフワークに、邦楽器やアジア民族楽器など
 多彩な作品を書き、海外からも多くの委嘱をうけています。
 今回、このふたりならではの器楽作品と、声楽作品をお楽しみいただけます。

松村禎三



三木稔



曲目 松村禎三：詩曲1番

箏：平野裕子(狛江在住) 尺八：善養寺恵介(狛江出身)

アプサラスの庭

ピアノ：新納洋介(狛江在住) ヴァイオリン：瀬崎明日香 フルート：北川森央

ギリシャによせる二つの子守歌

ピアノ：新納洋介(狛江在住)

三木稔：オペラ「きみを呼ぶ声」 1幕6場 *東京初演

ソプラノ：赤星啓子(音) メゾ・ソプラノ：栗田真帆(あかり)

テノール：布施雅也(音哉) バリトン：小林由樹(先生)

合唱：女声合唱団コール・レーネ(平成24年度エコルマホール文化芸術活動支援事業対象団体)

ピアノ：案野弘子 扇太鼓：堂免彩葉(狛江在住)、堂免沙樹子(狛江在住)

指揮：榊原 徹(狛江在住)

2015.3.14 [土] 15:00開演 (14:15開場) プレトーク 14:30~

狛江 エコルマホール

●728席・小田急線狛江駅北口、徒歩1分
●小田急線ご利用：新宿から約20分、登戸から約3分 ●バスご利用：調布駅から約15分

全席指定 一般 ¥3,000 高校生以下 ¥500 *当日学生証などご持参下さい。

●団体割引(10枚以上で10%引き)あり、ただし倶楽部Eとの併用はできません。

主催：一般財団法人 狛江市文化振興事業団 <http://ecorma-hall.jp> [@ecormahall](https://twitter.com/ecormahall)

協力：アプサラス／三木音楽舎／結の会

お申込み・お問合せ エコルマホール 03(3430)4106

♪発売初日のエコルマホール窓口でのチケット販売は9:00から、電話予約は13:00から受付いたします。

♪未就学児はご遠慮下さい。託児サービス(2歳以上の未就学児ひとりにつき1,000円・定員制・公演の2週間前までに要予約)がございます。詳細はお問合せ下さい。

♪曲目等に変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

プレイガイド

チケットぴあ <http://pia.jp/> 0570(02)9999 (Pコード:246-864)
Odakyu OX 狛江店1F 宝くじShop (窓口販売のみ)

一般発売

11.27[木]

倶楽部E発売

11.21[金]

エコルマホール
他公演のご案内

2/8[日] 10:00
3/29[日] 15:00

ふらっとエコルマ、オープンハウス vol.5 みんなで絵手紙
フランチェスコ・トリスターノ PLAYS ベトルーシユカ&展覧会の絵

ECORMA HALL



音楽の街-狛江

エコルマ・アンサンブル コンサート vol.7

狛江ゆかりの作曲家、松村禎三と三木稔

松村禎三と三木稔について

狛江には半世紀にわたり、日本を代表する国際的な作曲家、松村禎三と三木稔が居を構えていました。作風は全く異なっていたようですが、真摯に音楽に向き合う姿は一緒であり、プライベートでも親交を持つ仲でした。

松村禎三(1929-2007)は京都生まれ、高校卒業後、上京し池内友次郎、伊福部昭に師事。対照的な作風の両師の影響を受け、独自の作風を確立。人間の内面の苦悩を表出する重厚な音楽スタイルを貫きました。東京藝術大学名誉教授、相愛大学客員教授等を歴任。京都音楽賞大賞、勲四等旭日小綬章受章など受賞多数。主な作品に尾高賞受賞《管弦楽のための前奏曲》、交響曲第1番、ピアノ協奏曲第2番、オペラ「沈黙」等があり、映画音楽、劇音楽の分野でも作品を残しています。今回取り上げる作品は邦楽と室内楽の代表的な作品で、その独特の響きをお楽しみいただけます。

三木稔(1930-2011)は徳島生まれ、池内友次郎、伊福部昭に師事。1600年に渡る日本史をオペラ9作品として37年をかけ書き、邦楽では邦楽合奏団・日本音楽集団の結成に携わる等、多くの邦楽作品を残しています。東西を結ぶその音楽は国際的に評価が高く、海外からも多く委嘱を受けています。芸術祭大賞、紫綬褒章、旭日小授章など受賞。主な作品にオペラ「春琴抄」「あだ」「じょうりり」、《マリンバ・スピリチュアル》、《レクイエム》《急の曲》等があります。今回は晩年、誰もがわかりやすく、上演がしやすいようにと「オペラ」のエッセンスを盛り込んだ入門的と言える楽しい作品、「きみを呼ぶ声」をお楽しみいただけます。

松村作品



平野裕子 Hiroko Hirano / 箏

生田流箏曲を古屋富蔵、古屋靖枝に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。在学中、宮城賞を受賞。同大学大学院修士課程修了。ソロリサイタル開催、国際交流基金助成海外公演参加、コンサートやライブ活動の他、NHK FM放送出演、CD録音参加など、古典曲から新作まで幅広く活動中。小中学校において邦楽鑑賞会、箏演奏の授業を行い、邦楽普及にも努めている。



善養寺恵介 Keisuke Zenyouji / 尺八

東京藝術大学邦楽科卒業、同大学院修士課程修了。在学中は山口五郎師(人間国宝)に師事。1999年、第1回リサイタルを開催以来、現在に至るまで10回を重ね、2008年のリサイタルでは文化庁芸術祭新人賞、2009年では優秀賞を受賞。2000年2月、尺八教則本「はじめての尺八」(音楽之友社刊)を執筆。2002年5月、日本伝統文化振興財団賞受賞。虚無僧尺八を中心とした演奏活動のほか、関東各地にて尺八教授活動を行っている。公式web site <http://zenyoji.jp/>



新納洋介 Yosuke Niino / ピアノ

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京藝術大学を卒業。パリ地方国立音楽院上級コースを審査員満場一致の一等賞で卒業し、フランス国家演奏家資格を得る。第49回マリア・カナルス国際コンクール第2位、ヨーロッパ音楽コンクール第1位など様々な国際コンクールで上位受賞。2008年から2013年まで東京藝術大学ピアノ科で後進の指導にあたる。現在、国立音楽大学、及び常葉大学短期大学部講師。狛江在住。



瀬崎明日香 Asuka Sezaki / ヴァイオリン

東京藝術大学附属高校を経て同大学を首席卒業。パリ国立音楽高等学校大学院修了。第64回日本音楽コンクール第1位、トリエステ国際室内楽コンクール最高位、フォーバルストラディバリウスコンクール優勝。国内外でオーケストラとの共演、リサイタル、室内楽などで活動を広げている。コジマ録音よりイザイ、サンサーンスのCDをリリース。



北川森央 Morio Kitagawa / フルート

東京藝術大学附属音楽高等学校、東京藝術大学卒業。同大学院修士課程及び博士後期課程修了。博士(音楽)を取得。東京藝術大学教育研究助手、新日本フィルハーモニー交響楽団契約団員を経て、現在、聖徳大学音楽学部専任講師、東京藝術大学、上野学園大学、および上智大学非常勤講師。横浜シムフォニエッタフルート奏者。国内外の国際音楽祭への出演、国際音楽コンクールの審査員を務め、多方面で活動している。

三木作品



赤星啓子 Keiko Akahoshi / ソプラノ

武蔵野音大及び同大学院修了。第2回日本声楽コンクール入選。二期会「メリー・ウィドウ」ヴァランシエンヌ「魔笛」パヴァーナ「天国と地獄」キューピッド、三木稔「うたよみぎる」末子「羽衣」天女役他多くの舞台に出演。読響、日本フィル、新日本フィル、東フィル、九響等との共演や「題名のない音楽会21」に出演。昭和音大講師。二期会会員。



栗田真帆 Maho Kurita / メゾソプラノ

東京藝術大学声楽科卒業。聖徳大学大学院音楽文化研究科博士前期課程修了。同大学院研究生修了。「ラ・チェネレントラ(シンデレラ)」「ヘンゼルとグレーテル」などのタイトルロール(題名役)や、「メサイア」「第九」などのソロを務める。第3回下町たいとう親善大使。聖徳大学音楽学部兼任講師。日本声楽家協会研究員。日本声楽アカデミー会員。



布施雅也 Masaya Fuse / テノール

東京藝術大学卒業。同大学院修士課程オペラ科修了。第十五回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第一位。オペラではモーツァルトの作品を中心に出演。また「メサイア」「第九」「レクイエム」などのテノールソロや、日本歌曲を中心としたコンサートなどを積極的にこなしている。聖徳大学音楽学部講師。日本声楽アカデミー会員。



小林由樹 Yoshiki Kobayashi / バリトン

国立音楽大学卒業。99~01年日本音楽コンクール3年連続入選。第32回イタリア声楽コンクールソング賞受賞。新国立劇場を中心に「カルメン」、カヴァレリア・ルスティカーナ主要オペラに出演中。三木オペラでも主役を務め欠かせない存在。その他コンサートソロ、合唱指揮者としても活躍中。二期会会員。日本演奏連盟会員。



案野弘子 Hiroko Anno / ピアノ

作陽音楽大学首席卒業。全奨学金を得てアメリカ・サザンメソジスト大学入学。ホアキン・アチュカロ氏に師事しピアノ演奏コース修了。卒業後はジュリアード音楽院やイタリア・キジアナ音楽院にてディプロマを取得。アンサンブルピアニストとして、オペラ・歌曲・合唱・ミュージカルなどの伴奏に加え、コンサートなどでも活躍中。昭和音楽大学講師。



榎原徹 Toru Sakakibara / 指揮

東京藝術大学卒業後ドイツ在住。各国にて演奏活動の後帰国。現在は、オペラ、バレエ、コンサートを中心に幅広く指揮活動を続ける。三木稔作品に於いては、日本史9連作の初演を含む多数のオペラ上演、また現代邦楽合奏の分野などでも多数の公演を指揮している。(一財)狛江市文化振興事業団理事など市の文化芸術振興にも積極的参加している。狛江在住。



女声合唱団 コール・レーネ / 合唱

子育て中の地域の母親たちが集まり、1977年に結成。1987年には安田生命ホールで10周年記念コンサートを行ったのをきっかけに、活動の場を広げ、狛江市内や近隣の音楽会や合唱祭に参加。毎年、谷宣子の指導の下、意欲的な作品を取り上げ、好評を得ている。平成24年度エコルマホール文化芸術活動支援事業対象団体。

<スタッフ> 三木 稔: オペラ「きみを呼ぶ声」

作曲: 三木 稔 台本: 武村知子
演出: 山本健翔 舞台監督: 友井玄男
照明: 高山晴彦 美術: 照井旅詩
合唱指導: 谷 宣子
制作・小道具: 東京テアター